

癌化学療法輸液約束処方 胃34

癌種 胃癌 再発・切除不能（通院外来用）
 レジメン名 胃34 P-XELOX

薬品名（商品名）	一般名	略号	標準投与量	投与方法	投与経路	投与日	1コースの期間
キイトルーダ	ペムブロリズマブ	PEMBRO	200mg/body	30分	DIV	DAY 1	21日間
エルプラット	オキザリプラチン	L-OHP	130mg/m ²	120分	DIV	DAY 1	
カペシタビン	カペシタビン	CAP	1日用量 2000mg /m ²	分2 朝夕食後	PO	DAY 1(夕)～15(朝) または DAY1(朝)～14(夕)	

※実施決定後より内服開始

DAY 1

【末梢】

- ① NS 50ml /5分
- ② NS 100ml + キイトルーダ 200 mg /30分 ☆フィルター使用
- ③ NS 50ml /5分
- ④ 5% TZ 50ml + デキサート 1V / 5分
- ⑤ 5% TZ 50ml + パロノセトロン 1V / 5分
- ⑥ 5% TZ 500 ml + エルプラット mg / 120分
- ⑦ 5% TZ 50ml / 5分

【備考】

PEMBROの休薬基準は共通PEMBRO参照

【投与開始基準】

- ①好中球: 1500/mm³以上
- ②血小板: 7.5万/mm³以上
- ③38℃以上の発熱を認めない
- ④感覚性神経障害: G2以下
- ⑤非血液毒性: G1以下

【L-OHPの減量基準】

- ①好中球: 1000/mm³未満
- ②血小板: 5万/mm³未満
- ③発熱性好中球減少症: G3 以上
- ④非血液毒性: G3以上
- ⑤感覚神経障害: コースを超えて継続するG2
7日以上継続するG3
(コースを超えて継続するG3の場合は中止)

【カペシタビンの減量基準】

- 好中球 1000未満
 血小板数 5万未満
 発熱性好中球減少症: G3 以上
 HFS G2 以上
 (G1に回復するまで休薬し、減量して投与開始)

R6.7.26作成